

② 授業研究の推進

授業目標（研究テーマ）を達成する手立てが有効であったかを生徒の学習活動の状況などによって確かめあうことをねらいとして、研究実践計画に基づいて、授業研究を行った。

③ 授業研究会のもち方の工夫

授業研究に当たっては、授業参観の観点を設定し、役割分担をして授業参観に臨むよう配慮した。

資料3 授業研究事後研究会

- ・日時 平成4年10月12日(月) 午後4時00分～
- ・場所 職員室
- ・授業者 君島秀夫先生(通徳……4校時 第1学年)
- ・司会 大竹利一先生 記録 小柳幹子先生
- ・研究会順序
 1. 開会のことば
 2. 学校長あいさつ
 3. 研究協議
 - (1) 目評
 - (2) 質疑
 - (3) 協議
 - ① 本時の学習のめあてを把握させることができたか。(鈴木)
 - ② 学習のねらい・でだてを明確にして授業(指導過程)を進めることができたか。(高橋)
 - ③ 生徒が活動する時間と場はどうであったか。(鈴木健)
 - ④ 基本的な学習方法の訓練の状況はどうであったか。(玉川)
 - ⑤ 生徒の活動状況は(発言・発表)はどうであったか。(古川)
 - ⑥ 授業の流れ全般について(教頭)
- 4. まとめ(指導助言)……学校長
- 5. 閉会のことば

<考察>

- ① 学習目標・内容の分析⇒身近な教材の発掘⇒学習手順の明確化⇒生徒個々を生かした学習活動(個別指導)⇒考察・まとめというように、授業の構成に工夫が見られるようになってきている。
- ② 生徒相互のかかわりあいのさせ方に意を配り、生徒の多様な思考・表現などをさせる場や時間を設定するなど、理解を深めるための工夫が見られるようになってきている。
- ③ 事後研究会において、参観者全員が授業について発言するようになり授業研究に対する意識が高まってきている。

(3) 研究のまとめと考察

校内研修に関する職員のアンケート調査結果は、次のようであった。

設問	回答	結果
1 校内研修に対する教職員の意識	① よくまとまり、校内研修は力強く進展している。 ② 一応まとまっているが、まだ積極性に欠ける面もある。 ③ 熱意のある人と無関心の人とに別れている。 ④ ばらばらの考え方をしており、統一性に欠けている。	① 57% ② 29% ③ 14% ④ 0%
2 校内研修への取り組みについてあなた自身はどのように思っていますか	① 積極的に取り組んでいる。 ② どちらかというとなり積極的である。 ③ どちらかというとなり消極的である。 ④ 消極的である。	① 29% ② 57% ③ 14% ④ 0%
3 校内研修実践についてどのように思っていますか	① 授業改善に大変役立っている。 ② 教師としての資質を高めるのに役立っている。 ③ 教師の実践意欲を高めるのに役立っている。 ④ その他	① 56% ② 22% ③ 22% ④ 0%
4 校内研修で困ったときの解決方法	① 校内の先輩や同僚に相談し助言を求める。 ② 自分で資料を見たり工夫したりする。 ③ 校内での研修会で話し合われたことを参考にする。 ④ その他	① 45% ② 45% ③ 10% ④ 0%
5 昨年と比べ校内研修はどんな点に変化があったと思いますか	① 計画的に授業研究が実施されるようになった。 ② 校内研修に対する意識が高まってきた。 ③ ほとんど変わらない。 ④ その他	① 63% ② 37% ③ 0% ④ 0%

この結果などから考察すると、次のようなことが明らかになってきた。

- ① 研究実践計画の作成など、研修の内容や方法を明確にするために行った手立ては、校内研修を計画的に進める上で非常に役立ったと考える。
- ② 研究推進委員会の構成や研修時間の確保のための工夫などにより、協議の場や機会が多くなり、研究実践に対する共通理解を深めることができた。更に、研究主題に迫る実践研究を行おうとする意識が高まってきたと考える。

5. 今後の課題

○ 校内研修の充実が教職員一人一人の研究意欲にかかっている。教頭自らが研修を深め、教職員個々の研究意欲をより高め、持続するように援助指導していけるように努めていきたい。